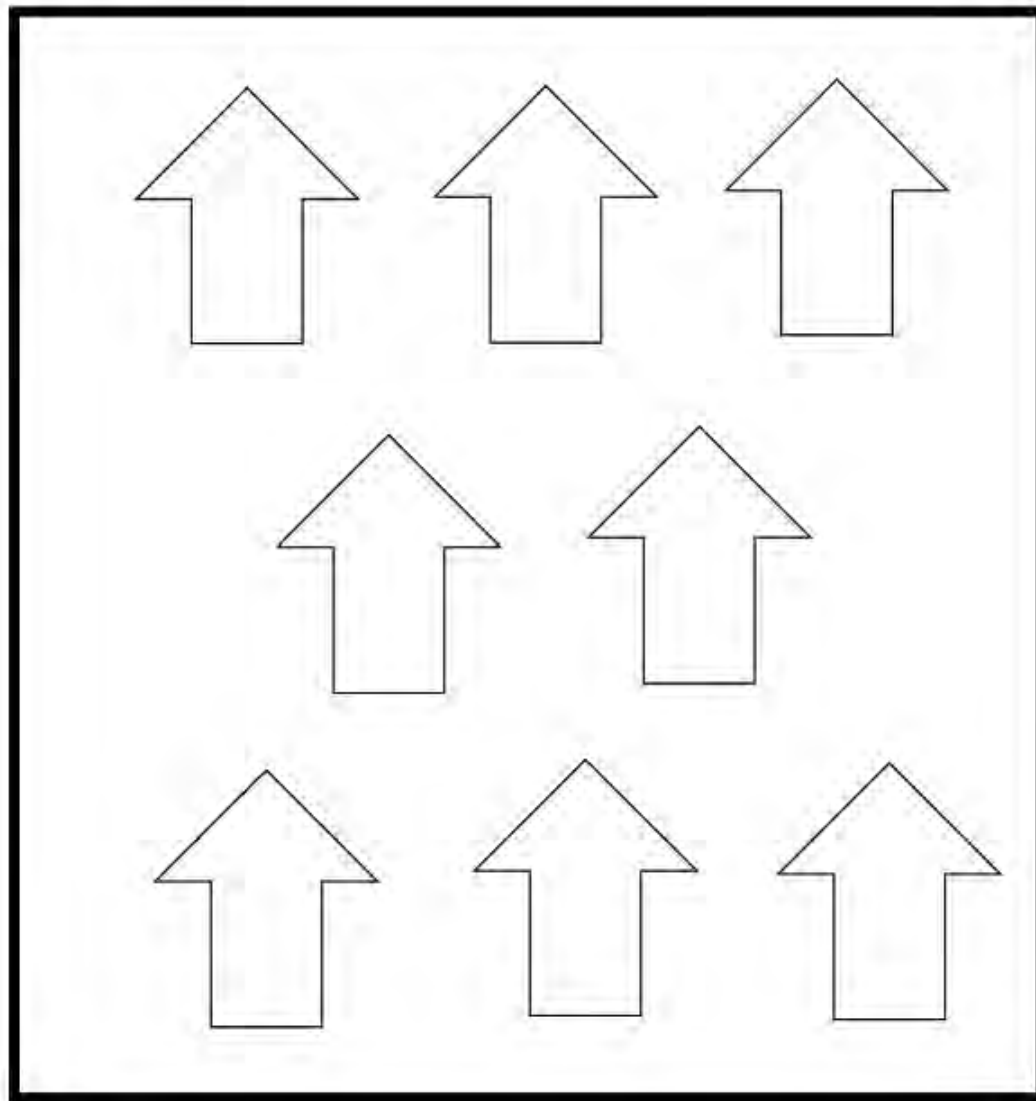
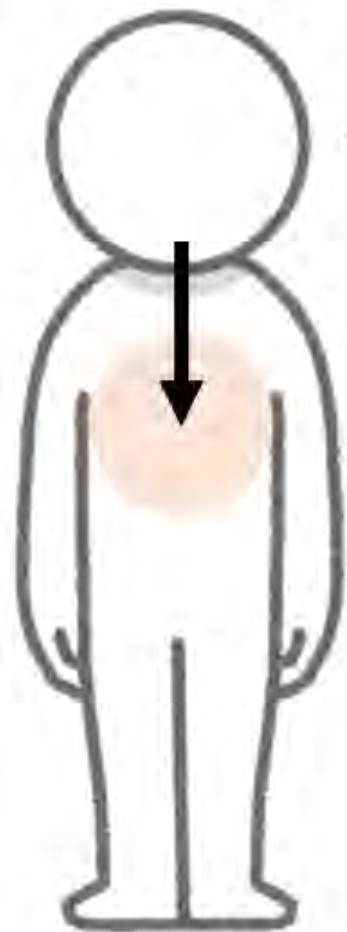


2023年12月10日(日) 先生の学校

PBLは何のため？

花まる学習会 高濱正伸

心を見る
哲学する



不幸への落とし穴 BIG 4

- ① 人目
- ② 比較
- ③ やらされ
- ④ コンプレックス（負の魔法）

→ 「無償の愛」 「存在を喜ぶ姿勢」 「魔法の言葉」

「自分を見失わない人」 「心の強い人」 を目標に

1 背景

(1) 国家としての行き詰まり

粒だった工員集団で追いつき追い越せ時代は終焉。ゼロイチ起業、時代を切り拓き世界をリードする力へ。

1 背景

(2) 「正解主義大人の挫折」

哲学できない大人、子育てにも人間関係にも夫婦にも部下育成にも正解を求める大人、自信の無い大人…。

1 背景

(3) 「『外付けの評価基準』の成績獲得」で
生き続ける大人の量産と、不安の蔓延。
自分がない。没頭できない。人目を気にする。
比較する…。

2 教育としての核心

「知識の記憶」から

「働く頭と生き生きした心」へ

(1) 「知識を授ける黒板授業 & 知識テスト」

→ 「主体性」

「興味関心（製作物や芝居など）への没頭と探求」

「働く頭脳」

「人間力（共感力・共同作業力・発表して納得させる力etc）」

(2) 映画「Most likely to succeed」

を観て感じたこと。

デザイン力の高さ、映画編集力によって、素敵にお化粧されているが、本質は「日本の部活」「集団での自由研究」「探求発表授業」と同じ。

アメリカには部活がないから、革新的に見えただけ。

3 キーワード

「課題設定」「アイデア創出」

「正解や決まったゴールの無い取り組み」

「みんなで（役割分担）」

「主体性」「没頭」「探求」

「行動・次への反省と課題目標再設定・革新の継続」

「物語構造の面白さ（大会で優勝したい、秋の文化祭での発表に向けて最高の芝居にしたい、等々。

人間が自然と引き込まれる力）」

4 花まるとしての取り組み

- ①野外体験（友だち申し込み無しでの異学年の8人で4日間遊んで寝泊り生活を楽しくする）
- ②アノネ音楽教室（つまりお稽古事）
- ③花スポ（サッカー・スポーツ）
- ④みんなビレッジ（農業×経済）
- ⑤スポーツサムライ
- ⑥花まるエレメンタリースクール
- ⑦国語大会、算数大会、思考実験大会、等々